

# 三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

---

## 第8回委員会

-第7回委員会の概要等について-

令和5年3月22日(水)

---

# 1. 第7回委員会における

---

## 主な質疑・応答の概要

# 1. 第7回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(2)地下水調査結果	<p><b>委員:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>降雨量は、年間を通して同じように降るのではなく、雨が降りやすい時期により多くなり、降りにくい時期により少なくなる傾向がある。</li> <li>年間降雨量が10%増になることを前提に、三島市の<a href="#">気候変動適応計画を考えていく必要</a>がある。</li> </ul> <p><b>委員長:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動条件下において、地下水への供給量の増減を示す明確なデータや論文等は、極めて少ない状況である。</li> <li>三島市周辺における年間降雨量10%増の予測は、妥当と思う。将来予測について、気候変動条件下で降雨強度が強くなった場合、降雨から地下水への供給を予測するモデルのデータが十分でないという課題がある。</li> <li>現時点でできることは、<a href="#">モニタリングを継続していくこと</a>だと考えている。</li> </ul>	<p><b>対応:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">モニタリング調査を継続</a>し、降雨量と地下水位の変動状況を引き続き確認する。</li> <li>調査結果を資料2「2. 三島駅周辺地下水調査結果」に示す。</li> </ul>

# 1. 第7回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.25～P.38)	<p>柳委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物構造の安全性については、二段階で検討されている。</li> <li>一段階目の溶岩層の安全性について、建物の接地圧が約500kN/m<sup>2</sup>であるのに対し、溶岩層の長期耐力は約10,000kN/m<sup>2</sup>であるため、<u>安全率が約20倍</u>となっている。<u>溶岩層を支持層とする場合、十分に安全</u>であると理解してよいと思う。</li> <li><u>次回委員会で、二段階目の地震時の支持層の安全性評価</u>が行われると考えている。</li> </ul>	<p>対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震時に<u>地盤の支持層の安全性の評価を実施</u>する。</li> <li>詳細を資料3「5. 事業関係者へのヒアリング結果」に示す。</li> </ul>
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.23)	<p>委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去の最高水位とD棟、C棟(旧E棟)の離隔距離は2mであった。<u>最高水位の発生確率は100年に1回ではなく、発生頻度が高くなる可能性</u>も考えられる。</li> <li>富士宮市では地下水位が上昇し、地盤が不安定になった。地下水位が上昇しても、十分に対応できるように検討していただきたい。</li> </ul> <p>委員長:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来、地下水位が上がるリスクは確かに否定できないと思う。</li> <li>現状を認識した上で、<u>モニタリングを継続</u>して欲しい。</li> </ul>	<p>対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>モニタリング調査を継続</u>し、降雨量と地下水位の変動状況を引き続き確認する。</li> <li>調査結果を資料2「2. 三島駅周辺地下水調査結果」に示す。</li> </ul>

# 1. 第7回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.24)	<p>委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下水位と建物底面基礎の離隔距離の議論の中で、万が一の対策として通水口が設けられていると思う。</li> <li>計画上では、A棟、B棟(旧BC棟)に通水口が予定されているが、<u>D棟、C棟(旧E棟)にも設置するのか検討状況</u>を教えてください。</li> </ul>	<p>応答:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>D棟やC棟(旧E棟)は、A棟やB棟(旧BC棟)に比べて基礎の底面が今年の最高水位に近い。</li> <li>工事中の<u>汚濁水発生リスクやボーリング調査の結果も踏まえ、検討中</u>である。</li> </ul> <p>対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>A棟、B棟(旧BC棟)、D棟</u>に通水口を設置予定である。</li> <li>調査結果を資料3「5. 事業関係者へのヒアリング結果」に示す。</li> </ul>